

國府産東 こぶら 漢詩人、新體詩人、史論家。明治八年二月五日石川縣生れ、昭和二十五年二月二十七日歿（一八七三—一九五〇）。舊名鹿島長松、

本名種徳、字遠之。別號こぶら、春蘭秋菊堂主人、産東浩十、産東

迂人、産東逸人等。東京帝國大學法科大學中退。内務省騰託、宮内省

御用掛等歴任。のち慶應義塾大專教授、東京高等學校教授など。

著書 『二十年戦史』（明治二十九年四月二十一日博文館）『萬國戦史』、

『大鹽平八郎』（明治二十九年十一月五日裳華書房）『偉人史叢』、

『龍吹鶴話』（明治二十二年八月一日博文館）、『支那學術史綱』（白

河次郎共著、明治二十二年十月十一日博文館）、『月蓮風蓮』（明治

二十二年十一月二十七日新聲社）、『涼』（編、明治二十四年七月七

日中瀟堂書店）、『先覺詞藻』（本名、合著、進藤信義編、明治二十

四年十月十一日阪鍾美堂書店、鍾美堂書店）、『花柘榴』（明治二十

四年十月二十一日文武堂）、『花籃集』（明治二十五年四月二十日新

聲社）、『俳諧講演集』（合著、筑波會編、明治二十八年二月八日金

港堂書籍株式會社）、『名媛集』（合著、井上藤生編、明治四十一年

二月七日文錦堂書店松陽堂書店）、『大阪北陸講演集』（合著、明治四十一年十

一月二十五日大阪・大阪毎日新聞社）、『炎餘鴻爪詩』（明治四十一年

年二月十日刊）、『産東文集』（明治四十一年十月一日隆文館）『詩文

叢書』）、床次竹二郎著『歐米小惑』（本名、編、明治四十一年四月

二十日加島虎吉刊）、古今『手あひま』（同、編、斯民家庭部、明治四

十四年十一月二十日刊、報徳會）、『朱舜水』（同、合著、朱舜水記

念會編、明治四十五年六月一日朱舜水記念會事務所）、『佐渡と新潟』

（石井稻亭畫、昭和八年九月二十五日日本風景協會）、『繪り國豊前』

豊後大佛次郎、田中純合著・石井杵亭畫、昭和九年四月二十八日九州風景

協會)、國體(殉じ)、楠公、(昭和十年六月序・海軍省教育局

「思想研究資料」)、漢詩鑑賞、(昭和十年八月十五日本春陽堂)、

大楠公、百年祭記念講演集、(合著・網谷才一編、昭和十年十一月五日兵

庫・神戸市聯合青年團)、神武天皇鳳蹟志、(昭和十一年五月六日

春秋社)、民族本來の面目、(木名、昭和十六年二月十五日日本學

術普及會「國民ライブラリー」)等。